

ゲーテ・ムジークコンサート Vol.17

Maki Orita

折田 真樹 バリトンリサイタル

Johann Ludwig Wilhelm Müller / Franz Peter Schubert

Winterreise 冬の旅

ヴァルヘルム・ミュラー詩 / シューベルト作曲 歌曲集全曲

Nobuko Nakamura

Piano 中村 展子

旅人は、誰に出会ったのか？

2020年10月9日(金) [18:00開場] 18:30開演

会場：トーキョーコンサーツ・ラボ 入場料：3,000円(全席自由)

東京メトロ東西線「早稲田駅」下車徒歩6分

主催：ゲーテ・ムジーク(Gute Musik)

後援：東京藝術大学音楽学部同声会 / 恵雅堂出版株式会社 / ICU OGC合唱団 / ロシア聖歌合唱団メロス

お問い合わせ：Tel：090-1135-1024 Email：gute_0323@yahoo.co.jp [ゲーテ・ムジーク]

冬の旅

折田 真樹
バリトンリサイタル

ヴィルヘルム・ミュラーが生まれ育ったデッサウは東西ヨーロッパの関所、殊に文化的な関所で、19世紀末にはバウハウスの現代美術運動の中心地ともなりました。彼は詩人であると同時に、このデッサウ、そしてドイツの未来について悩み思索し戦いもする、いわば志士でもありました。

アイデンティティを求め、ヨーロッパ文化の源泉としての古代ギリシアについて研究を重ね、ギリシア独立戦争の折には「ギリシア人の歌」を次々に発表して時の人となりました。しかしヨーロッパ全体に目を広げた時、ギリシアの恋人は彼ではなくイギリスのバイロン卿でした。失恋譚「冬の旅」には、この関係も伏線として流れています。

そして、シューベルトです！ 2000年に及ぶ文化的煩悶が産み出したこの傑作詩集が、デッサウ同様東西ヨーロッパの境目にある大都市ウィーンで、あのシューベルトの天才にも火をつけたのです。

「冬の旅」には随所随所に官能的なメタファーがあります。しかし、官能的苦悶なくして何が失恋譚でしょう？ そのような苦悶をこそ上質なるものをもって表現し得た時、初めて芸術と呼ばれ得るのではないのでしょうか。

(折田)



baritone
折田 真樹
Maki Oriita



国際基督教大学(ICU)卒業後、東京藝術大学音楽学部へ進学。安宅賞受賞、卒業時上野文化会館にてオーケストラ伴奏にて代表演奏。同大学大学院独唱科入学。学外にてイタリア人指揮者セルジョ・ソッシ氏の薫陶を受け、「ヨーロッパ言語とベルカント唱法」にて修士号取得。卒業後、イタリア、スロヴェニアにてオペラ公演に出演。

一方「ICU教会聖歌隊」指揮者として世界各国からキリスト教聖歌譜を集集。1995年モスクワより、革命中封印されていたロシア正教聖歌譜を大量に持ち帰り、「ICUOGC合唱団」を中心に、本邦初演・研究・演奏を続ける。

2003年、共に渡露した林正人氏とともに、恵雅堂出版より「近代ロシア聖歌集」を上梓。「ユリイカ」等に関係論稿を発表。東西教会音楽の相違と、古代ギリシア音楽およびルネサンスの連関についての考察・研究を重ねる。その後、ロシア正教聖歌の普及を目的に「オーソドックス合唱団」を立ち上げる。2019年、「オーソドックス合唱団」を「ロシア聖歌合唱団メロス」に改名。声楽家、合唱指揮者、研究者として活動を続ける。

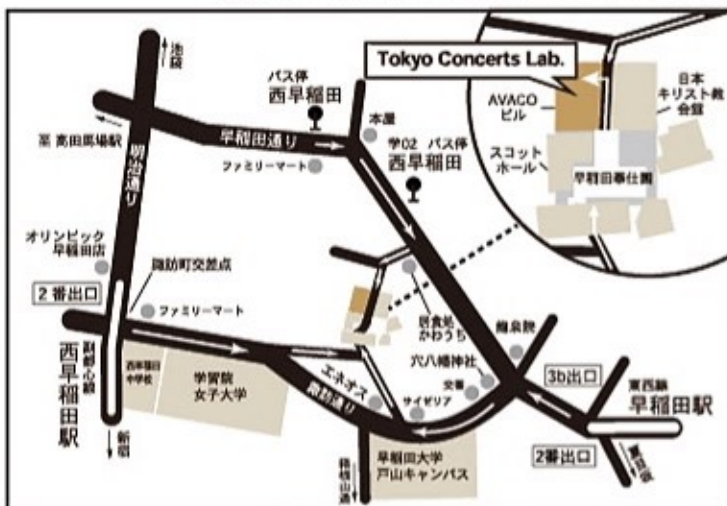
Piano
中村 展子
Nobuko Nakamura



大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学リート伴奏科卒業。ワイマール夏期音楽セミナー修了。「ソロとアンサンブルによるリサイタル」(R.オルトナー氏、小林隼介氏を迎えて)を開催。またオーケストラとの協演、ジョイントリサイタル、アンサンブルの演奏会に出演。一方、リサイタル、放送録音、新作初演、コンクール(シューベルト協会、トステイ協会主催のコンクールでは公式伴奏者を務める)、様々な演奏会などの伴奏ピアニストとして多くの演奏家と共演。オーストリア、ドイツ、韓国、南米など海外でも演奏し、好評を得る。

大阪音楽大学楽器資料館のフォルテピアノの管理にも協力し、数少ないフォルテピアノ奏者としても活躍。

CD「日本歌曲」第1～10集での伴奏を務め、「レコード芸術」などの批評で高い評価を得る。また、歌手とピアニストによる歌曲講座、フォルテピアノのワークショップの講師を務め、後進の指導にあたる。現在、大阪音楽大学大学院講師、国際ピアノデュオ協会、日本演奏連盟各会員、第25回京都国際技術祭音楽部門京都新聞社賞受賞。



2020年10月9日(金) 18:00開場 18:30開演

会場: トーキョーコンサーツ・ラボ

東京メトロ東西線「早稲田駅」下車徒歩6分

入場料: 3,000円(全席自由)

主催: ゲーテ・ムジーク(Gute Musik)

後援: 東京藝術大学音楽学部同声会/恵雅堂出版株式会社

ICU OGC合唱団/ロシア聖歌合唱団メロス

お問い合わせ Tel: 090-1135-1024

Email: gute_0323@yahoo.co.jp

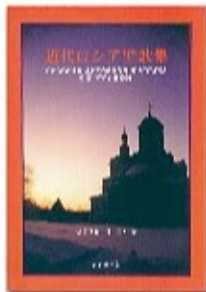
【ゲーテ・ムジーク】

楽譜

近代ロシア聖歌集

折田 真樹・林 正人 編
A4判/定価: 2,400円+税

恵雅堂出版株式会社



19世紀後半～20世紀初頭、絶頂期を迎えたロシア正教音楽の系譜。バラキレフ、チャイコフスキー、ラフマニノフ、カスターリスキー、そして革命と弾圧。混乱の中での悲劇—チェスノコフ、シュヴェドフ。19世紀後半～20世紀初頭の燦然たるロシア正教聖歌の代表作ともいえるべき12曲を採録。誰でも原語テキストにアプローチできるよう【教会スラヴ語テキストの読み方】と【対訳—教会スラヴ語/日本ハリストス正教会教団奉事式文/訳詞】を付録。